

市制施行70周年記念事業

市主催事業(協賛事業などを含む)

市制施行70周年を記念して、特に取り組むべく事業として市が実施するものです。

事業名	時期	場所
大相撲行田場所	4月19日(金)	行田グリーンアリーナ
市報にみる行田の歴史	6月1日(土)~23日(日)	郷土博物館
日本フィルハーモニー交響楽団 プライマリーコンサート	6月21日(金)	産業文化会館
夏期巡回ラジオ体操・ みんなの体操会	8月23日(金)	総合公園
NHK FMラジオ 「民謡をたずねて」公開録音	8月24日(土)	「みらい」文化ホール
宝くじスポーツフェア はつらつまさんバレーボール	11月 16日(土)・17日(日)	行田グリーンアリーナ
記念給食	11月(未定)	各小・中学校
日本遺産めぐり	秋(未定)	日本遺産ガイダンスセンター他

冠事業

例年実施している事業の中で、市制施行70周年記念事業としてふさわしい事業に冠をつけてより盛大に行うものです。

事業名	時期	場所
田んぼアート米づくり 体験事業	6月~11月 (田植えから刈り取りまで)	古代蓮の里 東・南側圃場
第29回テーマ展 わたしのまちのたからもの ~行田市の文化財展~	7月6日(土) ~9月1日(日)	郷土博物館
第69回市民体育祭	10月27日(日)	総合公園
市制施行70周年・ 文化の日記念式典	11月3日(日)	産業文化会館
第63回「浮き城のまち行田」 駅伝競走大会	12月1日(日)	総合公園

※冠事業は他にもありますが、随時、「市報ぎょうだ」や市ホームページなどでお知らせします。

市民提案実施事業

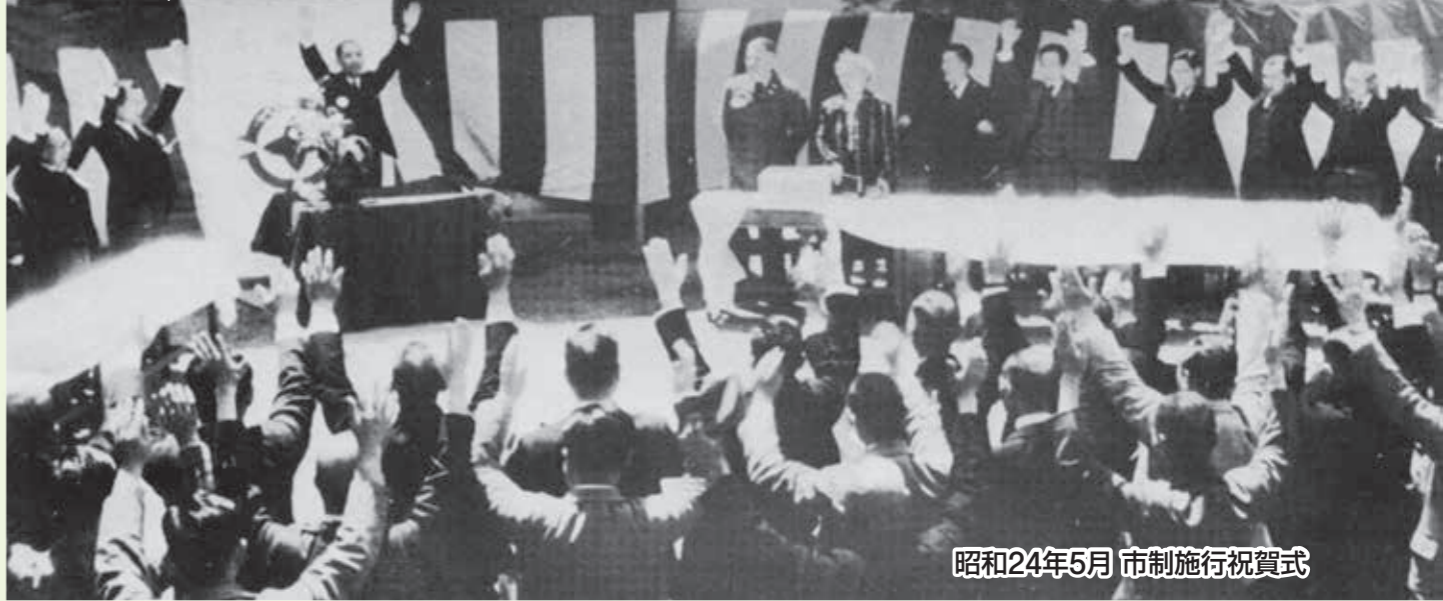
市民団体などが市制施行70周年を記念し自ら実施する事業。応募のあった事業のうち、記念事業としてふさわしいものと認められた事業について、市が実施費用の一部を補助するものです。

市民と市職員10人で構成された市制施行70周年記念事業検討委員会で、応募21事業のうち9事業が採択されました。たくさんのご応募ありがとうございました。

事業名	事業概要	時期	場所
みんなで描く 70枚の巨大壁画プロジェクト	70枚のペニヤ板に、市制施行後70年の出来事を時系列に描き、巨大な壁画を作成し展示します。また、商工センター、各イベントや祭りなどで展示も行います。多くの市民の方と制作することで、70年の歴史を振り返り、参加者の郷土愛を育むとともに、壁画を通じてたくさんの人に「行田の歩み」を伝えます。	5月~ 令和2年2月(予定)	牧嶺舎 他
子ども大学ぎょうだ オープンキャンパス	行田の特色を生かしたオリジナルの謎解きゲームを制作し、市内の小中学生および保護者を対象に実施します。地域の大学やNPO団体などと連携して、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供します。(5ページ参照)	6月2日(日)	水城公園、 コミュニティ センターみずしろ
古墳のある町 行田の歴史フォーラム	「なぜ行田には古墳群があるのか」をテーマに、市民吹奏楽団や米娘舞のコンサート、女性ゲストを招いたフォーラム、抽選会などを行います。このイベントを通じ、楽しく学んで知っていただくとともに、行田に住んでいることの誇りや喜びを多くの方に伝えます。	7月15日(月)	「みらい」 文化ホール
ぎょうだ映画・ドラマの聖地巡礼 スタンプラリーマップ	市内ロケ地やカフェなどの飲食店を掲載した外国人を含む観光客向けのポケットサイズA2版1枚のマップを作成し、市内飲食店のクーポン付スタンプラリーを実施します。作成するマップは、世界に誇る日本の折り紙技術の「ミウラ折り」を採用するとともに、外国人観光客にも配慮した表記とすることで、観光リピーターや外国人観光客を増やし、地域の活性化を図ります。	9月~ 令和2年2月(予定)	市内中心市街地 周辺
行田国際運動会 「忍城オリムピック2019」	ラグビーワールドカップに合わせ、忍城をメイン会場に外国人を含む観光客が参加できる足袋を活用した運動会を開催します。併せて、行田ならではの飲食エリアも設置します。行田人としての「自信」と「誇り」を醸成することはもとより、国際交流を通じて行田ファンを増やすとともに、「忍城」や「足袋」などの地域資源を活用して、素晴らしい行田を世界へ発信します。	9月28日(土)・29日(日)	忍城址、 水城公園周辺
行田足袋の町 忍城 絵手紙展	全国の城をテーマにした絵手紙を募集し展示します。絵手紙は誰でも気軽に始められるものであり、全国の城を題材とした絵手紙展は全国初です。市内外から多くの集客をすることで、地域活性化を図ります。	11月7日(木)~17日(日)	コミュニティ センターみずしろ
光の道の創造	忍城から浮き城の径、水城公園や旧忍町信用組合店舗建物などを多くの人に発信することを目的として水城公園のライトアップを実施します。観光客が増加傾向にある今、おもてなしとしてライトアップするとともに、他団体とのイベントのコラボにより、話題性を創出し、全国に行田の魅力発信します。	12月~ 令和2年2月(予定)	水城公園
オペラ公演	行田にゆかりのある音楽家とともにオペラ公演を盛大に開催します。この公演を通して、市民の方との一体感を醸成するとともに、行田市の文化振興を図ります。	令和2年3月1日(日)	産業文化会館
第九演奏会	ベートーヴェン作曲「交響曲第9番」合唱付きの演奏の他、「行田市歌」や「蓮の故郷」など、市民になじみ深い楽曲も演奏します。オーケストラと行田市民で開催することにより、行田市の音楽文化の振興と市民の一体感を醸成を図ります。	令和2年3月29日(日)	産業文化会館

※市ホームページでも、市制施行70周年記念のページを開設し、イベント情報など随時更新しますので、そちらもご確認ください。
▶問い合わせ 企画政策課企画政策担当(内線311)

祝 行田市制施行70周年 ~輝く行田 NEXT STAGE!~



昭和24年5月 市制施行祝賀式

行田市は、昭和24年に誕生し、5月3日で70歳になります。この記念すべき70周年を迎えるに当たり、行田市発展の歴史を振り返り、市勢の発展に寄与された先人の業績を顧み、深く感謝の意を表します。また、新たな歴史を築きあげるための飛躍年とするため、先人たちが培った行田の貴重な地域資源などを活用した、各種記念事業や冠事業、市民提案実施事業など、市民の皆さんとともに祝う記念の事業を実施します。

基本方針

事業を進めるに当たっては「市民協働」、「まちづくり・ひとづくり」、「簡素・効率」を念頭に置き、基本理念の実現を図るため「3つの視点」を大切にしながら、記念事業を展開していきます。

①身近にあるすばらしいものを再発見し、そして「継承」します。

②ふるさと行田に自信と誇りを持ち、そして全国に「発信」します。

③すべての市民が夢を持ち続けることができる未来を「創造」します。

実施期間

70周年を記念して開催されるイベント事業などの開催期間は、平成31年4月1日から令和2年3月31日とします。

メインテーマ(キャッチフレーズ)「輝く行田 NEXT STAGE E！」

テーマの主旨 ふるさと行田が、市制施行70周年の記念すべき年を迎え、次の輝かしいステージへ進んでいこうという願いが込められています。

70周年記念ロゴマーク

70周年にちなみ市のシンボルで関東7名城の1つでもある忍城をデザインに採用し、忍城は変わらなくとも、忍城から見る行田市の景色は明るい未来に向けて変わっていくという思いが込められています。

今後、市ではこのロゴマークを積極的に使用し、行田市制施行70周年記念を市内外にPRしていきます。市民の方や市内団体でも、所定の申請書の提出により使用が可能となりますので、イベントやパンフレットなどに積極的に使用し、行田市のPRをしていただくようお願いいたします。なお、ロゴの使用に当たっては、企画政策課への申請が必要となりますので、詳しく

が必要となりますので、詳しく

一言メモ

市制施行前の行田市は「忍町」といい、その面積は現在のおおよそ3分の1から4分の1でした(面積18.52km²、人口31,733人)。昭和24年5月3日に行田市が誕生した後も、昭和26年4月に下忍村の駒形地区を編入し、昭和29年3月に荒木・須加・北河原村の3村、同年7月に埼玉村、昭和30年7月に星宮村の一部、同年9月に太井村の一部、昭和31年4月に下忍村の一部、昭和32年3月に太田村をそれぞれ合併しました。さらに、平成18年1月に南河原村と合併し、現在の市域になっています。



くは同課へ問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。